



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月1日

上場会社名 日本精鉱株式会社

上場取引所 東

コード番号 5729 URL <https://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 理史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理部長 (氏名) 若林 武則

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,537	25.3	123	82.9	102	85.6	59	87.9
2019年3月期第2四半期	7,417	1.0	721	12.9	712	12.9	490	16.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 49百万円 (89.9%) 2019年3月期第2四半期 487百万円 (22.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	24.42	
2019年3月期第2四半期	201.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,910	7,163	65.7
2019年3月期	11,746	7,206	61.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,163百万円 2019年3月期 7,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		37.50		37.50	75.00
2020年3月期		37.50			
2020年3月期(予想)				37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	26.9	390	68.9	360	70.5	240	71.1	98.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,605,900 株	2019年3月期	2,605,900 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	165,171 株	2019年3月期	164,892 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,440,875 株	2019年3月期2Q	2,441,031 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(以下「当第2四半期」という)におけるわが国経済は、雇用・所得環境などに改善がみられるものの、企業の生産や輸出は弱んでいます。一方、海外においても、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響、中国経済の減速、その他海外経済の不確実性などにより、景気の先行きについては、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは国内外での販売力の強化に努めるとともに、製造力及び技術力の向上、様々な工程での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

しかしながら、通商問題などによる市場変化の影響は大きく、当第2四半期の売上高は前年同期比1,879百万円減収(25.3%減収)の5,537百万円、営業利益は同597百万円減益(82.9%減益)の123百万円、経常利益は同610百万円減益(85.6%減益)の102百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同431百万円減益(87.9%減益)の59百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、主産地である中国において、米国との貿易摩擦が長期化し、需給関係が緩み、急速に下落しました。9月に入りやや持ち直したものの、当第2四半期の平均価格は、約6,400ドルとなり、前年同期比約22%下落しました。円建てでは同約23%の下落となりました。

同事業の販売状況につきましては、中国の景気減速などの影響を受け、需要が減退し、販売数量は前年同期比606トン減少(15.6%減少)の3,294トンとなりました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、販売数量の減少と販売価格の下落により、前年同期比901百万円減収(22.9%減収)の3,036百万円となりました。セグメント利益は、販売数量の減少や原料地金相場下落の影響などにより同120百万円減益(54.7%減益)の99百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は、当第2四半期平均でトン当たり692千円となり、前年同期比9.0%の下落となりました。

電子部品向け金属粉の販売状況につきましては、電子部品の生産・在庫調整などにより、スマートフォン関連需要などが低迷し、販売数量は前年同期比190トン減少(30.2%減少)の440トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉の販売状況につきましては、自動車部品・家電部品向けが低調に推移し、販売数量は前年同期比184トン減少(19.3%減少)の769トンとなりました。

全体の販売数量は、前年同期比374トン減少(23.6%減少)の1,209トンとなりました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、販売数量の減少と販売価格の下落により、前年同期比978百万円減収(28.2%減収)の2,490百万円となりました。セグメント利益は、電子部品向けの大幅な受注減と原料地金価格下落の影響などにより、同482百万円減益の3百万円のセグメント損失となりました。

[その他]

不動産賃貸事業の当第2四半期の売上高とセグメント利益は前年同期比横ばいの11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ836百万円減少の10,910百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比べ945百万円減少の6,470百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が441百万円、商品及び製品が268百万円、原材料及び貯蔵品が266百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ108百万円増加の4,439百万円となりました。これは主に有形固定資産が116百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ793百万円減少の3,746百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ674百万円減少の2,959百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が409百万円、未払法人税等が137百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ118百万円減少の787百万円となりました。これは主に長期借入金が112百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ42百万円減少の7,163百万円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により59百万円増加したこと及び配当により91百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,733,777	2,807,726
受取手形及び売掛金	2,068,435	1,627,322
商品及び製品	1,417,086	1,149,028
仕掛品	282,138	230,783
原材料及び貯蔵品	870,124	603,903
その他	50,399	56,619
貸倒引当金	△6,721	△5,160
流動資産合計	7,415,241	6,470,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,394,609	1,539,029
機械装置及び運搬具(純額)	787,308	812,468
土地	1,474,191	1,474,191
その他(純額)	238,553	185,287
有形固定資産合計	3,894,662	4,010,977
無形固定資産	46,238	46,715
投資その他の資産	390,366	382,128
固定資産合計	4,331,266	4,439,821
資産合計	11,746,508	10,910,045

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	803,284	393,704
電子記録債務	301,443	244,046
短期借入金	1,657,500	1,645,000
未払法人税等	162,346	25,134
賞与引当金	155,433	154,641
その他	553,717	496,512
流動負債合計	3,633,724	2,959,038
固定負債		
長期借入金	470,000	357,500
退職給付に係る負債	361,319	347,946
資産除去債務	36,389	36,636
その他	38,679	45,350
固定負債合計	906,388	787,432
負債合計	4,540,112	3,746,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	5,740,730	5,708,795
自己株式	△152,619	△153,220
株主資本合計	7,170,963	7,138,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,957	24,410
為替換算調整勘定	2,474	736
その他の包括利益累計額合計	35,431	25,146
純資産合計	7,206,395	7,163,573
負債純資産合計	11,746,508	10,910,045

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	7,417,797	5,537,987
売上原価	6,200,340	4,928,434
売上総利益	1,217,457	609,552
販売費及び一般管理費	496,153	486,135
営業利益	721,304	123,416
営業外収益		
受取配当金	2,577	2,639
為替差益	14,391	—
保険解約返戻金	3,593	4,142
その他	8,272	6,977
営業外収益合計	28,834	13,758
営業外費用		
支払利息	9,713	7,137
為替差損	—	11,519
休止鉱山費用	24,938	14,909
その他	2,714	1,223
営業外費用合計	37,366	34,789
経常利益	712,772	102,385
特別損失		
固定資産除却損	2,169	728
特別損失合計	2,169	728
税金等調整前四半期純利益	710,602	101,656
法人税、住民税及び事業税	215,337	32,225
法人税等調整額	4,301	9,829
法人税等合計	219,638	42,054
四半期純利益	490,964	59,602
親会社株主に帰属する四半期純利益	490,964	59,602

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	490,964	59,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△606	△8,547
為替換算調整勘定	△2,620	△1,738
その他の包括利益合計	△3,227	△10,285
四半期包括利益	487,736	49,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	487,736	49,317

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,937,945	3,468,513	7,406,459	11,338	7,417,797	—	7,417,797
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	24,468	24,468	—	24,468	△24,468	—
計	3,937,945	3,492,982	7,430,927	11,338	7,442,266	△24,468	7,417,797
セグメント利益	220,577	478,295	698,873	11,108	709,981	11,322	721,304

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額11,322千円はセグメント間取引の消去11,322千円であります。

- II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,036,108	2,490,478	5,526,586	11,400	5,537,987	—	5,537,987
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	14,739	14,739	—	14,739	△14,739	—
計	3,036,108	2,505,217	5,541,326	11,400	5,552,727	△14,739	5,537,987
セグメント利益 又は損失(△)	99,863	△3,897	95,966	11,199	107,166	16,250	123,416

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額16,250千円はセグメント間取引の消去16,250千円であります。